第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

愛知県豊田市立飯野小学校

授業者 山内 英嗣

1 単元名

エコプログラミング展覧会を開こう(7/12時間)

2 単元の目標

- ・理想のエコのまちやロボットを、プログラミングを用いて表現できる。 (知識・技能)
 - ・エコの視点で、実社会や実生活から問いを見出だし、理想のまちについて考え、発表する。

(思考・判断・表現等)

・環境やエネルギー問題を「自分ごと」として捉え、エコプログラミング展覧会でのブース展示をよりよいものにしようとする。 (学びに向かう力・人間性等)

3 単元について

≪児童の姿≫

※○できていること ●課題

- ○仲間と共にプログラミングを学ぶ姿が見られる。
- ○エコや環境について体験を通した学習に、主体的に取り組んでいる。
- ○自分たちの学びをクラウド上のワークシートを使ってふりかえることができる。
- ●一人一人が「自分ごと」として課題を明確にもち、探究し、アウトプットできるようにしたい。

≪教材について≫

- ・4月から総合的な学習の時間に、アイシン化工と連携し、環境学習プログラムに取り組んでおり、目的意識をもちやすい。
- ・Minecraft、embotを子どもたちで学び合いながら使えるようになってきた。本単元では、展覧会を開くという目的意識をもたせることで、エコのまちやロボットを、プログラミングを用いて表現する姿が期待できる。

≪手立て≫

- ・ブース展示の「エコプログラミング展覧会」として発表会を行う目的意識をもたせ、学んできた情報を整理して問いを見出だし、ブース展示の内容を決めて、チームをつくる。
- ・一人で学んだり、グループで相談したりする 学び方を選択できるようにする。また、毎時 間に本時の個別課題と進行状況共同編集 で入力させ、単元途中や終わりで、アイシン 化工の方や

- 1 -

≪目指す児童の姿≫

学び方を主体的に選び、仲間と共に課題を解決し、 社会参画しようとする児童

4 単元計画(12時間完了)

時	目標(◆)と主な活動	評価の観点		見点	教師の支援 ■評価
		知	思	主	
1	◆展覧会に出展する課題の設定			0	・課題の探し方や選び方を示す。
	・身近なエコや自然環境に関する話題				・マインドマップアプリを使っ
	や問題を探る。				て、これまでの学びをアウト
	・グループで話し合い、興味や関心の				プットする。

	ある課題を選ぶ。				■課題を設定しようとする。
					【主体的に学習に取り組む態度】
2	◆ブース展示のゴールの設定			0	・目標の設定方法や例を示す。
	・選んだ課題に対して、自分たちが				・目標が適切かどうかを確
	どんなことをしたいか、どんな				認する。
	プログラムで作りたいかを考える。				■目標が明確で達成可能である。
	目標を具体的に設定し、端末で共有				【思考・判断・表現】
	する。				
3	◆準備の計画の作成	0			・計画の立て方や例を示す。
	・目標を達成するために、どのような				・計画シートを端末で共有し、
	手順や方法をとるかを考える。				計画が無理なく、妥当かどう
	・必要なアプリや資料、時間や役割分担				かを確認する。
	などを決める。				■計画が具体的で実行可能であ
	・計画書に端末で入力する。				る。 【知識・技能】
4	◆計画に沿って、必要な情報を収集	0			・情報の探し方、プログラム例を共有
	・embotや教育版Minecraft、Scrachなどの				する。
	ツールを使って、再現方法や解決策を考				・アプリの使い方や活用方法を
	え、共有する。				教える。
					■情報が正確で信頼できる。
					解決策が創造的で効果的であ
					る。 【思考・判断・表現】
5	◆情報や解決策をもとに、展示ブースを		0		・魅力あるブース展示の作り方や
6	作成(本時)				工夫方法を共有する。
7	・embotや教育版Minecraft、などのツールを				・共同編集を活用して

8	使って、エコや自然環境を再現する。			各時間で目標を設定し、達成状
9	・プレゼンテーションを作成し、検討			況を共有する。
	や練習をする。			■成果物がわかりやすく視覚的に
				表現されている。
				【思考・判断・表現】
10	◆展覧会で、保護者やアイシン化工株式会	0		・発表の備や練習方法を教える。
11	社に成果物を発表			・発表の内容や態度についてフィード
	 ・課題や目標、計画や情報、解決策や 			バックする。
	成果物について説明し、質問に答え			■発表に説得力があり、質問に
	る。			適切に答えることができる。
				【思考・判断・表現】
12	◆自分たちのプロジェクト学習の成果や成		0	・成果や成長の確認方法や例を示
	長を確認			च 。
	 ・自分たちが身につけた力やスキル、知識 			・自分たちの評価や反省に対して
	 や態度などを評価する。 			励ましやアドバイスをする。
	・今後の目標や課題を考える。			■自分たちの成果や成長に対して自
				信や意欲をもっている。
				【主体的に学習に取り組み態度】

5 本時の授業(8/12時間)

(1)目標

・収集した情報をもとに、プログラミングを用いた展示ブースの作成を進め、中間のアウトプットをし、 フィードバックもらう。【思考・判断・表現】 ・学び方を主体的に選択し、仲間と共にブース作成に取り組む。【主体的に学習に取り組み態度】

(2)準備

・多目的室映像セット・展示ブース用の画用紙、模造紙、机、いす、プラスチック段ボール

(3)ゲストティーチャー

- ・株式会社e-craft社長 額田一利氏・社員の方(オンライン参加)
- ・アイシン化工株式会社 平田麻友美氏 ·ASKNET 荒井直人氏

(4)学習過程

時間	学 習 活 動	教 師 の 支 援
3	1 本時のめあてを確認し、各チームの	・教師のアドバイスがいつでも見られるように、
	今日の学習内容を聞く。	進行状況をExcelの共同編集で確認する。
	飯野エコプログラミング	展覧会の準備を進めよう
20	2 各自の課題を確認し、チームに	・無理のない1時間の課題設定ができるように、
	分かれて作業を開始する。また、作	全員の本時課題をPowerPointの共同編集で
	業中に相談したいことがあれば	確認し、声かけをする。
	Teamsに話題を投稿し、他のチー	
	ムに相談したり、ゲストティーチャー	・児童が学びを深めるように、ゲストティーチャー

	に質問したりする。	には、ブースを巡回して児童に質問したり、個
		 別のフィードバックをしたりするように依頼す
	A班 ダムや風力発電をMinecraftで	ి ం
	再現したい	
	B班 embotと紙芝居形式で	
	環境クイズを作りたい	
	 C班 温暖化を解決するロボットを	
	embotで作りたい	
	D班 飯野地区の自然環境を	
	Minecraftで再現したい	
	E班 3Rについて考え、空き缶の	
	分別装置を作りたい	
7	3 ゲストティーチャーから全体的な	- - 展覧会に向けて意欲が高まるように、ゲスト
	フィードバックをもらう。	 ティーチャーには、各班へ期待することを話し
		てもらう。
10	 4 フィードバックをもとに本時を振り返 	│ ・友達の振り返りを参考にできるように、 │
	り、共有する。	PowerPointの共同編集を使う。
	・embotを作った方から、ほめてもらっ	
	てうれしいな	
	・ゲストティーチャーからもらったヒント	
[

を使って工夫したいな	

(5)評価

・収集した情報や解決策をもとに、プログラミングを用いた展示ブースの作成について、自分たちの学び を

アウトプットし、フィードバックを活かして工夫しようとする。【思考・判断・表現】

・学び方を主体的に選択し、仲間と共にブース作成に取り組める。【主体的に学習に取り組み態度】